

## 令和6年度 東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 受賞企業一覧

賞別	部門	受賞企業情報	人材育成の概要
大賞	ものづくり部門	社名：株式会社岩崎成型 業種：プラスチック成型業 所在地：大田区 HP: <a href="https://www.iwasaki-seikei.com/">https://www.iwasaki-seikei.com/</a> 	◇全社員の技術レベルを4段階の『力量表』で見える化し、社内で掲示して情報共有している。 ◇『力量表』を基に『個別的教育計画』を作成し、管理監督者との面談で課題や目標を調整している。 ◇1ヶ月のトライアル就労期間を活用することで、入社後のミスマッチを防ぎ、社員と会社の双方にとって最適な環境を提供している。 ◇「プラスチック射出成形技能検定」の費用を全額会社が負担し、何度でもチャレンジできるほか、合格者には報奨金制度がある。 また、『能力チェックシート』を用いて、総合的な貢献度を評価し、賞与・昇給・昇進の判断材料としている。
優秀賞	ものづくり部門	社名：株式会社佐藤製作所 業種：金属加工業 所在地：目黒区 HP: <a href="https://sato-ss.co.jp/">https://sato-ss.co.jp/</a> 	◇「若手社員のみで行う学生職業体験プロジェクト」を発足させ、若手社員の「企画力」「計画力」「指導力」「コミュニケーション力」を向上させている。 ◇女性スタッフが主体となり、技能の認知度向上、業界イメージアップなどに貢献する様々な活動を行っている。自分の技能向上だけでなく、その技術を正しく世の中にPRできる社員を高く評価している。 ◇毎週月曜日に全員参加必須の会議を行い、前週に発生した社内問題や技術課題をA4の1枚にまとめ、全員で原因と再発防止策、改善案を議論している。
優秀賞	ものづくり部門	社名：菊川工業株式会社 業種：金属製品製造業 所在地：墨田区 HP: <a href="https://www.kikukawa.com/">https://www.kikukawa.com/</a> 	◇社員一人ひとりが「チャレンジシート」を作成し、技術力向上等の目標を設定・達成するプロセスを明確化する、チャレンジ制度を導入している。 ◇部署ごとに求められるスキルが異なるため、業務に必要なスキルを細分化し、社内資格として評価制度を創設している。 ◇毎年、新入社員研修計画書を策定し、それに基づき、営業から設計、製造、施工までの各工程を対象に、計3ヶ月の研修を行っている。 ◇業務に関連する資格を取得した社員に対し、難易度や重要性に応じて、月数百円から1.5万円の資格手当を支給している。
優秀賞	ものづくり部門	社名：株式会社ユニテックス 業種：製造業(ITデータシステム・メーカー) 所在地：町田市 HP: <a href="https://www.unitex.co.jp/">https://www.unitex.co.jp/</a> 	◇部門を超えた技術者同士のメンタリング活動を推進し、視野の拡大とスキル向上を図っている。 ◇社員のスキル向上とキャリア開発を支援するため、階層別に多様な教育研修プログラムを提供している。 ◇女性社員を組織の幹部に登用し、女性のキャリアパスやリーダーシップの発展を積極的に促進している。また、組織内にグローバルな視野を取り入れ、多様性を尊重している。 ◇人事評価制度では、「行動評価」と「業績評価」を体系化し、具体的な目標を上長と部下で共有し、総合的に評価している。
奨励賞	ものづくり部門	社名：株式会社メデック 業種：業務用機械器具製造業 所在地：八王子市 HP: <a href="http://www.medich.co.jp/">http://www.medich.co.jp/</a> 	◇高精度の機械加工・検査技能を有する人材育成を目指し、部門別力量評価表を用いた体系的な人材育成を行っている。 ◇従業員の技術・技能を評価するうえで、特に、加工の段取り及び加工時間が製品のコストを左右する重要な要因となるため、加工実績表を基に協議のうえ、各年度の従業員の評価を給与に反映させている。 ◇従業員の成長と技術向上を支援するため、新人研修・技術向上教育・ISO教育といった研修を通じて、従業員のスキルアップを図っている。
奨励賞	ものづくり部門	社名：日本珪瑯釉薬株式会社 業種：製造業(窯業) 所在地：板橋区 HP: <a href="https://www.nhy.co.jp/">https://www.nhy.co.jp/</a> 	◇新年度初めに全社員が集まり、会社事業説明会を開催している。これにより、会社の社会的ミッションやポジションを明確にし、社員のモチベーションを維持・向上させている。 ◇OJTを中心とした職場研修を実施している。入社日から1年間、フォローアップシートを記載してもらい、先輩指導員がコメントを記載することで、アナログ的な対話を通じた効果的な指導を行っている。 ◇個人目標チャレンジシートを活用し、年間2回の自己評価を実施。会社の期待するスキル評価を加味し、賞与月数と能力給を決定している。

## 令和6年度 東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 受賞企業一覧

賞別	部門	受賞企業情報	人材育成の概要
奨励賞	サービス部門	社名: 有限会社レッドホース 業種: レストランサービス業 所在地: 三鷹市 HP: <a href="https://rh-group.co/">https://rh-group.co/</a>	 ◇調理人が将来の経営者として活躍できるよう、技術力の確立とマネジメント能力の向上をバランスよく推進している。また、多様性を重視し、女性や外国籍の調理人の育成にも注力している。 ◇各種資格について手当額を設定し、保有者に対して支給している。また、資格保有者については管理職登用を積極的に実施している。 ◇毎月の献立変更時に料理長の指導の下、若手社員が献立変更に対応できるよう指導している。また、調理方法や食材の特長をお客様に説明できるよう指導している。
奨励賞	ものづくり部門	社名: 株式会社葵製作所 業種: 金属製品製造業 所在地: 八王子市 HP: <a href="https://www.aoi-ss.co.jp/">https://www.aoi-ss.co.jp/</a>	 ◇社員の成長を支援するために「個人カルテ」を活用している。社員は目標を明確にし、実行策を自ら考える。年に2回の社長との面談で役割と期待、目標を共有・確認し、達成度を評価する。 ◇社員のスキル向上を支援し、溶接資格3種類のうち、1種類合格ごとの臨時昇給や、3種類すべて取得すると昇給が適用される。 ◇社員が製造現場で学ぶ「技術向上プロジェクト」を毎年度数カ月間、業務時間内に実施。チームで製造工程を体験し、発表と質疑応答を通じて技能伝承・多能工化を推進している。
奨励賞	ものづくり部門	社名: 林工業株式会社 業種: 金属加工業 所在地: 大田区 HP: <a href="http://hayashi-ind.co.jp/">http://hayashi-ind.co.jp/</a>	 ◇社員が自ら考え、試行錯誤できる機会を提供している。例えば、全設備を操れるようになりたいと願い出た社員には、経営層がその意識を共有し、実現できるよう教育を行う。また、管理に特化した社員には管理システム構築を任せ、社内DXシステムの構築や最適化を実現できるまで成長させた。 ◇年に1度、社長が全社目標を設定し、それを基に社員が個人目標を立てている。社長との定期的な面談を通じて、個人目標には難易度が設定され、人事評価や昇進・昇格に反映される。 ◇詳細なマニュアルを揃えることで、スムーズで均一な人材育成を可能としている。
奨励賞	ものづくり部門	社名: 株式会社小原工業 業種: 業務用機械器具製造業 所在地: 世田谷区 HP: <a href="https://www.obara-kogyo.jp/">https://www.obara-kogyo.jp/</a>	 ◇社員別の技能マップを作成し、目標とする資格を明確にしている。さらに、上司自らが積極的に技能検定などの資格取得にチャレンジし、若手社員の見本となり、刺激を与えている。 ◇座学、実技指導、メーカーとの交流・研究者などを自社に招いて行う情報交換会など、多様な手法で取り組んでいる。 ◇長期的なキャリア形成を支援するために、各社員の「人材育成計画」を策定している。今後の期待する役割、修得スキル等を長期間にわたって設定し、目標を明示することで、長期的な視点をもった成長を促している。
奨励賞	ものづくり部門	社名: 都建材工業株式会社 業種: 窯業土石製品製造業 所在地: 府中市 HP: <a href="https://www.miyako-cm.biz/">https://www.miyako-cm.biz/</a>	 ◇DXを積極的に活用し、全従業員がタブレットなどで即時に情報を確認できる環境を整備している。また、DX活用のサポートとして、業務内でのセミナー受講や展示会への参加を奨励している。 ◇製造部門の効率化、安全性向上、作業の軽減を目的とした改善活動を10年以上継続している。社員の年間総提案数は1千件を超え、提案件数の8割以上は「実施済み提案」となっている。 ◇職務分掌・権限規程集に基づく等級別職務基準を設け、年2回の人事考課と個人面談で昇格・昇級を決定している。